

## 平成 19 年度 第 3 回幹事会議事録

能代高校東京同窓会

日時：平成 19 年 3 月 3 日（土） 14：50～16：30

場所：日本橋社会教育会館 第一洋室  
東京都中央区日本橋人形町 1-1-17

出席：出席者 21 名

五十嵐資和 21・信太吉右エ門 21・畠豊彦 25・佐々木章 26・  
畠山信孝 26・太田勝治 29・関根市男 29・熊谷幸夫 30・  
藤田道義 30・武田茂 30・深井学 36・豊島誠 38・大塚進 39・  
菅原涉 39・小河範也 41・三浦洋 45・吉田真由美 46・大塚聡子 49・  
松永京子 49・淡路和子 55・大高忠勉 62

議事録署名人：熊谷幸夫 30・松永京子 49

議事録作成人：吉田真由美 46

### 【会長挨拶】

太田勝治会長から、「今日はいつもより議題が多いが、忌憚のない意見を述べてほしい」と挨拶があった。

### 【新しいメンバーの紹介】

五十嵐資和 21、武田茂 30、大塚聡子 49 の 3 名が自己紹介をした。

菅原涉幹事長が議長を務め、幹事会の議事に入った。

### 【報告事項】

特別委員会設置の報告（菅原幹事長）

2 月 22 日、常任幹事会（持ち回り）で、新たに会長直属の特別委員会を設置することが全員一致で承認された。提案内容は下記の通り。

- ・東京同窓会の更なる発展・活性化を図るために、若い年代の意見を直接吸い上げる手段として、諮問会を設置する。
- ・この諮問会は当面、常設委員会ではなく特別委員会とする。
- ・特別委員会の主要メンバーは 40 期以後の世代にお願いする。

### 【審議事項】

幹事会に先立って行われた各委員会の方針・決定事項の発表

[ 総務委員会 ]( 報告：大塚進委員長 )

出席者：大塚進、松永京子

( オブザーバー：太田勝治会長、菅原渉幹事長、大塚聡子 )

幹事会の開催について

- ・開催日は、皆さんからの要望を踏まえて「平日の夜」・「土曜日の午後」と交互に開催しているが、当面このままでいく。
- ・時間はなるべく短時間としたい。土曜日の場合は 2 時間程度、平日夜の場合は 1 時間から 1 時間半が適切。
- ・年間 3 回程度（現状のまま）でいいと思う。
- ・常任幹事会は、メールでの持ち回り審議が適切である。
- ・幹事会は持ち回りではなく、今までどおりに顔を合わせての開催とする。

年会費について

- ・年会費について、周知徹底を図る必要がある。以前、ある年齢以上は会費免除としていた時期があったが、この措置はなくなった。昨年の総会時にも知らない会員も見られたので、会報などに明記して知らせるようにする。
- ・年会費の 3,000 円は、運営上からいっても、妥当と考えられる。
- ・本校生は卒業時に同窓会の入会金として 7,200 円を徴収されている。この一部を東京同窓会に回してもらい、新卒者の招待費に充てられないかと考えている。今後の課題としたい。

幹事委嘱のルール化について

- ・品位に欠けたり迷惑をかける幹事（会員）に対応するため、一定のルールを作っておいたほうが運営しやすい。
- ・総会や懇親会等での会員同士のトラブルについては、その都度対応する。

幹事会運営の協力について

- ・総務委員会での議事録作成については、今後、対応を考える。

#### 【質疑】

- ・本校の卒業式に、会長が出かけてはどうか。そういう高校がある。（畠山）
- ・本校の同窓会もホームページができたが、日頃から交流する雰囲気をつくって、提案していくことが大切ではないか。（畠）
- ・新卒者を招待しても、次回実際に参加するのは早くても 15 年後。それでも、東京同窓会の存在を知ってもらうという意味がある。（菅原）

[ 広報委員会 ]( 報告：三浦洋副委員長 )

出席者：三浦洋、淡路和子

平成 19 年度会報誌の発行について

- ・会報誌は今年度も発行する。
- ・会議に出られない委員もいるが、ふだんはメールをベースに連絡を取りあっている。必要があれば、随時ほかに手伝いを求めているので、メンバーは現状でいきたい。
- ・制作は引き続き太田印刷にお願いしたい。編集・校正でもお世話になっており、委員会としてもありがたい。
- ・スケジュールは、昨年度は余裕がなかったので、今年度は 1 カ月早めて、お盆前に校正作業を終えたい。

- ・内容は、ほぼ今までどおりとする。「総会のお知らせ」は、内容のすり合わせに時間がかかってしまうので、スケジュールの都合上、別紙とすることを考えている。
- ・昨年度からの「ブログ記事の抜粋」に加えて、新たに「恩師の消息」を企画提案したい(例、北川和子先生)。
- ・投稿の呼びかけは、ホームページ、メーリングリスト、ブログを併用する。6月末までに記事を集めたいので、協力をお願いしたい。
- ・昨年度は広告の募集をせず、「きくち」と「和作」のみだった。これについては意見を聞きたい。

#### 同窓会ホームページ、ブログの運用について

- ・ホームページは、幹事長担当の「事務局だより」が充実してきた。これまでの蓄積は、写真や音源など、アーカイブとしての役割を果たすようにする。本校の同窓会のホームページでは、こちらの応援歌、校歌をリンクして好評を得ている。
- ・ブログの運営は、引き続き女性を中心に進める。若い人や女性の参加拡大につなげたい。
- ・ホームページの運営では、掲示板への見苦しい書き込みが問題となっている。管理者を1人増やして、袴田、三浦、淡路の3名で巡回、削除にあたることにする。

#### その他の事業

- ・総会の記録を、BGM付きのデジタルの写真集の形にすることを考えている。CD、DVDにして実費で配布することも併せて検討したい。

#### [組織委員会](報告：小河範也副委員長)

出席者：小河範也、熊谷幸夫、大高忠勉

(オブザーバー：吉田真由美)

#### 平成19年度総会の概要について

- ・昨年度、当番期制度がうまく機能しなかったのは、連絡の不備のため。今年は前もって連絡をとり、準備したい。
- ・当番期に求めるのは、参加してくれる人をどれだけ増やせるかということ。
- ・うまく連絡をとって、理解した上で会の運営に協力してもらえようようにしたい。
- ・今年度の担当期は、29期・39期・49期。幹事にも紹介をお願いしたい。
- ・総会で講演会をやる方向で考える。そのためには早めに進めたいが、12:00に総会スタートをする形にできないか。そうすれば、総会が12:00～12:40、講演会を13:30までに終え、懇親会が13:40スタートとなる。今後さらに検討したい。
- ・懇親会には歌などのイベントを交渉したい。

#### [財務委員会](報告 佐々木章委員長)

出席者 佐々木章 (総務委員会と合同で開催)

- ・収支決算(平成19年2月28日現在)の報告。
- ・スリム化した予算を実現できているので、当分これで進めていきたい。
- ・今年度の今後の支出は、10万円前後と見込まれる。

#### 【質疑】

- ・ 前回の報告と変わったところはどこか。( 畠 )
- ・ 後ほどホームページに変更箇所はカラー表示して掲載するので、確認してほしい。変化のあった項目は、収入は会費と幹事寄付金、支出は会議費、交流費、通信費、雑費。( 菅原 )

#### 年会費の二重払いについて ( 菅原幹事長 )

本校同窓会(年会費 2,000 円)と東京同窓会(年会費 3,000 円)の両方に会費を払うようになってきているが、一本化できないかとの意見があった。一方で、両方払いたいという人もいて、これまで曖昧なままできている。また本校同窓会に払ったので東京同窓会には払わなくても良いと思っている人もいるようだ。本件は今まで正式に幹事会でとりあげたことがなかったので、一度話し合っ方向性を決めた上で、本校の同窓会と相談したい。

#### 【質疑】

- ・ 本校とは独立した同窓会なので、こういう形になっている。今後のことは、よく話し合っほしい。( 畠山 )
- ・ 難しい問題である。同窓会は会費と寄付金でまかなわれているので、双方とも会費を払う人数を減らしたくないだろう。この問題は懸案とし、チームを作って検討してはどうか。( 畠 )
- ・ 東京同窓会の位置づけがわからず、支部と考えている人、寄付金の感覚の人など、いろいろだろう。東京同窓会には会費、本校には寄付という形にしてはどうか。( 畠山 )
- ・ 位置づけについて勘違いしている人が多い。東京同窓会は独自の会費でまかなわれているという説明が、きちんとあったほうがいい。( 深井 )
- ・ 本校の同窓会と交渉して、交通整理を試みたい。( 菅原 )

#### 同好会の増設について

趣味の集まりを通じて会員相互の交流をさかんにし、総会や懇親会に来てくれるよう、同好会を増やしたいと計画している。現在は、能高五日会と能球会がある。本日は、新しく2つの同好会の提案がある。

#### 「東京探訪の会」( 吉田真由美 )

- ・ 日常あまり触れることのない東京を訪ねて、再発見するというコンセプト。
- ・ 半日くらいの無理のないコースで、国会議事堂、皇居東御苑、深川などを検討中。
- ・ 家族の参加も歓迎。当面、春と秋の年2回としたい。

#### 「樽子山会」( 五十嵐資和、信太吉右エ門 )

- ・ 30年ほど前から東京で年1回、21期の同期会をもってきた。年々集まる人が少なくなってきたので、21期にかぎらず、樽子山の旧校舎に心を寄せる同窓生の同好会として発足させたい。

- ・五日会が若手のグループであるのに対し、65歳以上のグループという考えで、総会に人を呼び込みたい。(畠山)
- ・母校の発展に寄与するということを目的としたい。幹事会にも協力を求めたい。(畠)
- ・事務局ではPRや普及のための協力はするが、同好会の活動そのものは、各同好会で工夫してほしい。(菅原)

その他

各期に幹事がいるといい。(信太)

- ・各期に1名以上の幹事を求めているが、なかなか達成が難しい。また実際上の運営としては、一年間反応無しの幹事はいったんリストから外し、希望があれば即時復帰としている。(菅原)

秋高連からの連絡(畠山)

- ・今年は「秋田わか杉国体」が開かれる。秋高連も「首都圏秋田わか杉国体支援協議会」の一員なので、宣伝に協力してほしい。

【閉会のことば】

関根市男副会長から、「まずみなさんの健康をお祈りし、ますますの支援協力を願いたい」とのことばがあった。

以上で審議はすべて終了し、議長は閉会を宣した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事署名人はこれに署名する。

平成19年3月3日

議長 幹事長 菅原 涉

議事録署名人 熊谷 幸夫

議事録署名人 松永 京子